

THE KOBECCHO

NOVEMBER No.307

1986 / 11月刊神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可

昭和61年11月1日印刷 通巻307号 昭和61年11月1日発行 毎月1回1日発行



わたし時間は「わたし」色。
H・Lのクオリティ感覚。

美しさは、

心とボディのクオリティから始まる。

そこには、

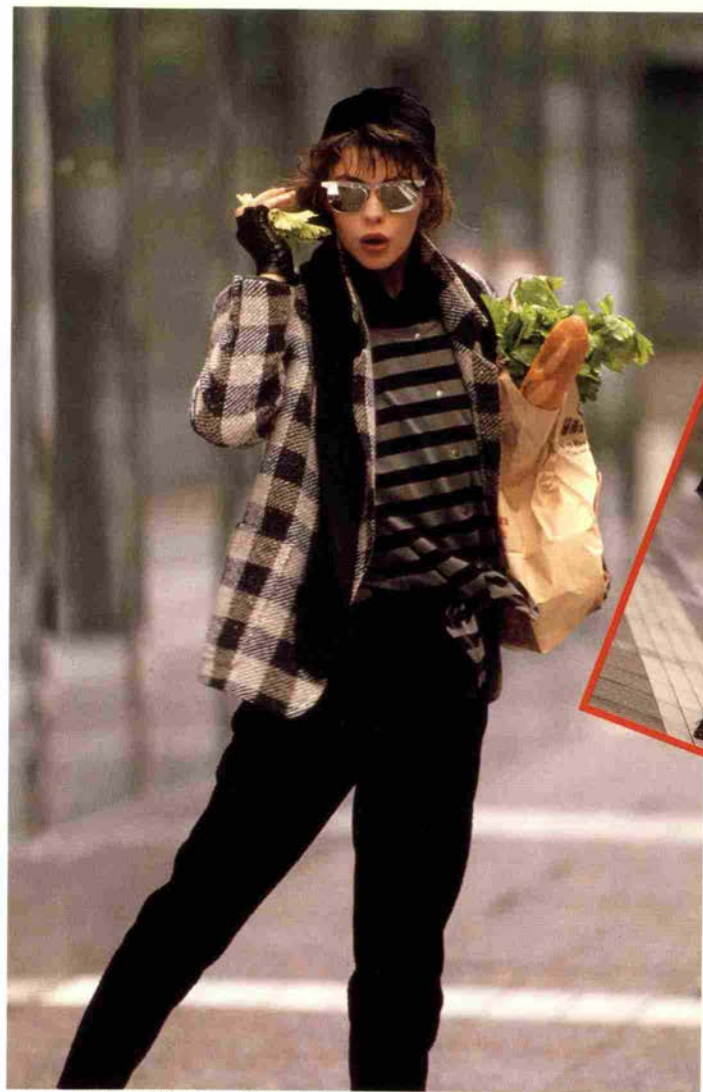
計算しつくされた色のハーモニーが

カジュアルな「わたし」を創る。

着るなかに、

少し大人の

「わたし」を出してみる。



BENIYA
KOBE OSAKA TOKYO

- 取扱い店 ●
- さんちか店 / さんちかローザアベニュー ☎078(321)2678
- ナビオ店 / NAVIO阪急3F ☎06(316)1304-4
- 梅田店 / 阪急三番街 ☎06(374)0137
- ミナミ店 / 虹の街 ☎06(213)6128
- 近鉄店 / 上本町近鉄百貨店3F ☎06(773)1117

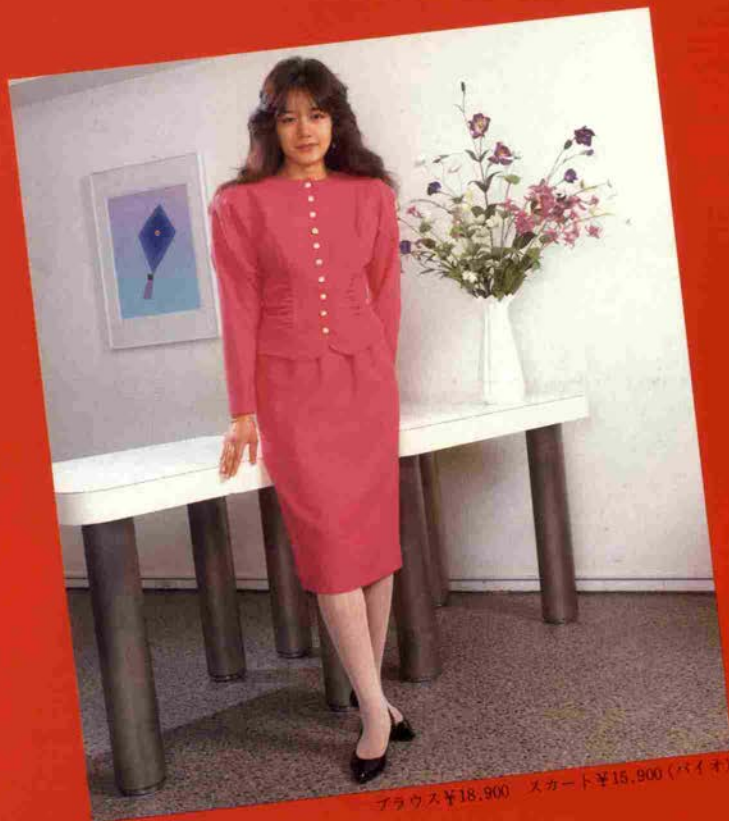
● ジャケット(568-2923)¥49,000 カーディガン(967-2738)¥26,000 シャツ(668-2886)¥24,000 ストール(067-2660)¥9,800

なにも言うことはありません。
真珠です。

ジュエリーの進化が始まります。

 田崎真珠

イズム ismのある風景 20



ブラウス ¥18,900 スカート ¥15,900 (バイオ)

伊都友子、バイオを着る。自然の花をできる限り忠実に表現したい
—という伊都さんは、未生流家元学園で近代造花（アートフラワ
ー）の師範をこの若さで取得。「一番好きな花は、真紅のバラです」

※写真のブラウスを抽選
で3名様にプレゼント
いたします。

葉書に住所・氏名
・年齢・職業を記名の
上、下記までご応募く
ださい。'86年11月25日
締切。

〒651 神戸市中央区東
町113-1 大神ビル9F
月刊神戸っ子「イズム」
プレゼント係

WASHO DARTS
ism CO., LTD.
株式会社 イズム

Head office: 1-12, 2-Chome, Nunobiki-cho, Chuoku, Kobe, 651, Japan TEL078-222-3641

Marketing room: 10-7, 2-Chome, Nunomiyama-cho, Chuoku, Kobe, Japan TEL078-222-1331

● Second Cover

世界の物売り〈23〉メキシコ／テレスコープを売る人
おばちゃんや、おっちゃんのうしろからでも
望遠鏡は便利重宝

中西 勝

〈二紀会〉





86ポートピアグランドクリスマス

ダンスパーティー

最高のサウンドでステップも
軽やかに、カップルで、大人のクリスマス。

12

21

日

会場 ▶ 偕楽・和楽の間

お1人様 ￥15,000

● お料理、お飲みもの、税金、サービス料共

6:00PM→10:00PM

〈演奏〉

- ノーチェ・クバーナ
〔シンガー ▶ 高橋キヨシ〕
- 藤家虹ニクインテット
〔シンガー ▶ CAPS〕

※誠に勝手ながら、お子様のご同伴はご遠慮ください。



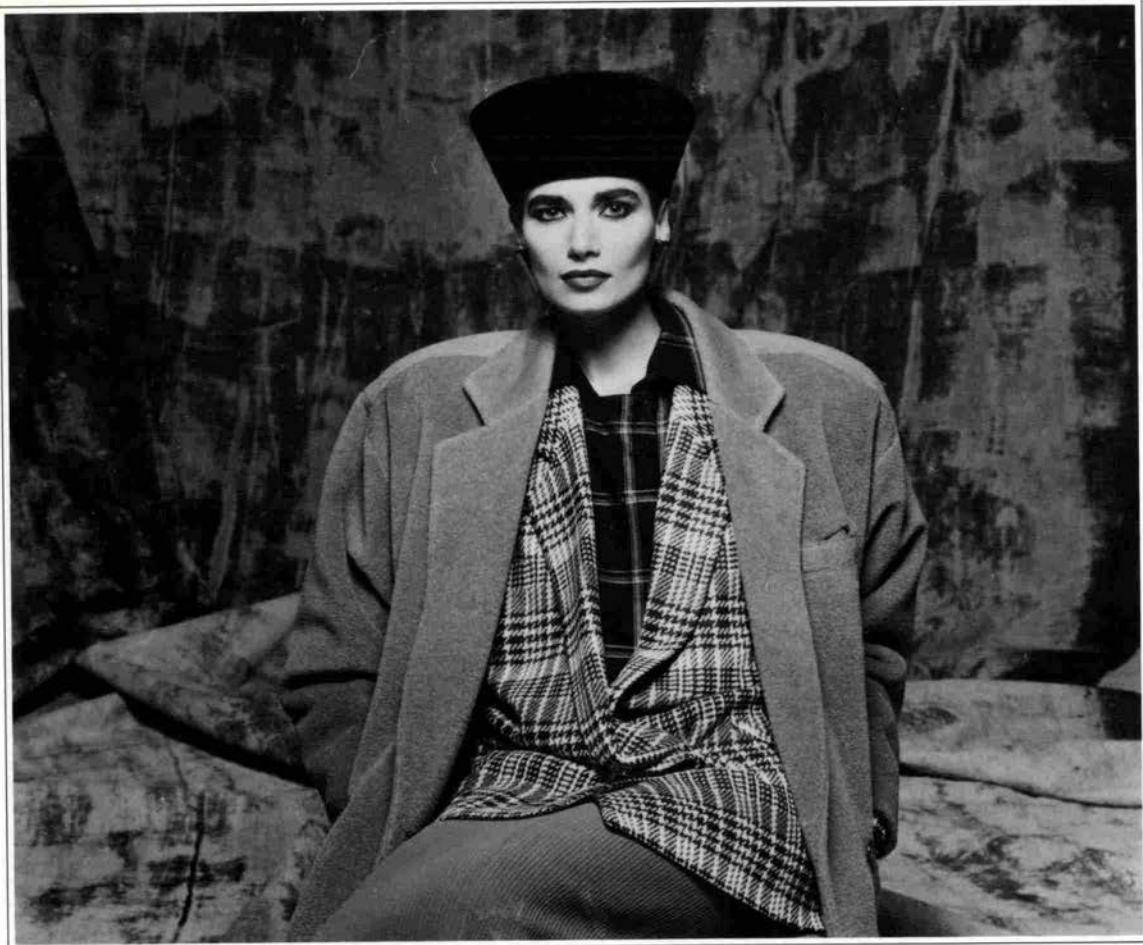
神戸ポートピアホテル

ご予約・お問い合わせ

TEL. 078・302・1111 (クリスマス係)

〒650 神戸市中央区港島中町6丁目10番地1

'86ポートピアグランドクリスマスは、このほか、%◎森進一ディナーショー、%④金子由香利ディナーショー、%⑩お子さまクリスマス、%④朝比奈千足クリスマスコンサートがございます。チケットはお早めにどうぞ。



BASILE

Sanohe

ヌーベルサノヘく元町1番街>TEL 321-1710



KATHARSIS...カタルシス

Tajima
宝飾店 タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表

斬新なデザインの舞台装置を

國嶋芳子

（朝日放送美術部）

カメラ・柴谷浩也

関西オペラ界の舞台美術の向上と新人の育成を目的とする装置デザインの公募コンペで、見事最優秀賞に輝いた國嶋芳子さんは、小さい頃から美術との関わりが深かったという。その彼女が武蔵野美術短大芸能デザイン科を選んだのは、「高校の時見たテレビの歌番組の照明がきれいだったから」だそう。以来、朝日放送テレビ制作美術部で数々の番組の舞台美術を担当してきた彼女だが、自分のイメージをそのまま活かせる舞台装置には長い間魅せられていたそう。 「オペラはいろんな制約があると聞いていましたが、いざやってみると意外と負担がないんですね。体質的に合っているのかも」と語る國嶋さんに、受賞の喜びと共にとびこんできたのが、11月12・13の両日尼崎のアルカイックホールで関西歌劇団が上演する、ドボルザークのオペラ『ルサルカ』の舞台装置制作。 「会社から帰って12時頃から作り始めるんです。気がつくとき空が明るくなっていたということもしばしば。体力がいりますよ。」とチャイミングな笑顔の國嶋さんは、その小柄な体からは想像もできないパワーの持ち主。趣味はゴルフと明石の魚の棚あたるの散策という彼女、仕事をこよなく愛する、とってもしなやかなレディーだった。 東灘区在住。 40歳。



5階会議室を増設。 12月1日／さらに広くなります。

●目的に合わせてお気軽にご利用下さい。

神戸国際会議場の5階フロアが、新しく会議室として誕生。

幅広い目的に合わせてご利用いただける機能と

格調を備え、ご満足いただける集いを

お約束いたします。



神戸国際会議場

- メインホール 692席
 - 国際会議室 106席(馬蹄型)
 - レセプションホール 250人(立食)
 - 中小会議室 7室
- 6カ国語同時
通訳設備有

501・502 会議室は、国際会議の
分科会場として、また各種会議、
研修会、セミナーなどさまざまな
用途にご利用いただけます。

503 ～ 505 会議室は、各種会議の
ほか、間仕切りを取り除くと、パ
ーティーや展示会場などに最適で、
多種多様なご利用が可能です。

施設の概要			
施設の 名 称	面 積 ㎡	レイアウトバリエーション	
		学校形式 (基本型)	劇場形式
501	233	150人	200人
502	233	150人	200人
503	88	42人	80人
504	90	42人	80人
505	95	51人	80人
504+505	185	100人	180人



▲501会議室

▼503～505会議室



●お問い合わせは



財団法人 神戸国際交流協会
〒650 神戸市中央区港島中町6丁目9-1
TEL (078) 302-5200 FAX (078) 302-6485

獣医学博士は優しいお兄さん

清水 晃

（神戸大学農学部助教授）カメラ・米田定蔵

“微生物生態学の立場から、ブドウ球菌の動物における生態を解析する手段としてファージによる型別法の研究を推進”——素人にはもうひとつピンとこないのだが、これが本年度の井植文化賞科学技術部門を受賞された、神戸大学農学部助教授の清水晃さんの功績である。

昭和19年岩手県盛岡市生まれ。北海道で育ち、北大獣医学部大学院卒業後、昭和44年神戸大学に助手として赴任。昭和52年に助教授となった。「今回の受賞は大変励みになりました。さらに今の仕事である、人間の食中毒予防にも役立つ人畜共通病原微生物の研究を進めていきたい。」と照れながら語る。大変穏やかな物腰で、堅いイメージは全くない。学生達にとっても優しい兄貴のような存在。

北海道から一緒に神戸に出てきた奥さんとは昭和45年に結婚。現在、中学3年生の女の子と小学校5年生の男の子のお父さん。「教育には無関心で、全て家内に任せてます。好きなように伸び伸びと育ってくればそれで満足です。」忙しくて仲々子供たちと遊んであげられないそうだが、いい父親に違いない。宝塚市在住。

（神戸大学農学部研究室にて）





ある集い
■
神戸フロイデ合唱団

神戸フロイデでなければ
きない心のこもった「第九」
団長 椿野 大

楽譜が読めなくても、うたの好きな人なら誰でも参加できる、手づくりの合唱をモットーに、気軽に参加して頂くために呼びかけ、練習に熱心に出席して下さる方なら誰でも「第九」に出演できる神戸フロイデ合唱団は、旧神戸労音が昭和26年7月、第1回の「第九」を公演してから今年が丁度20回目に当り、それを記念して第20回記念公演を、来る12月8日(月)7:00 PM 神戸国際会館大ホールで催すため、今年も250名程の合唱団員が集まり、12月8日の本番成功に向けて、厳しくかつ楽しい亀井正比古先生の合唱指導のもとで、馴れないドイツ語も含め、最後の仕上げに団員一同必死にとりくんでいます。

この20回目という神戸では唯一の伝統と、積み重ねられた遺産を受け継ぎ、すばらしい「歡喜のうた」を演奏したいと思っています。

そして、私達のこの仕事を昭和37年から一貫して支持し、協力して下さいった指揮者外山雄三先生をはじめ、多くの音楽専門家の方に応援られるよう、今回の「第九」は、今迄にかつてないすばらしい「ペーサー」の歡喜のうたに仕上げて行きたいと考えています。どうか、ぜひご来聴下さいませ。

■合唱団員の申し込みは「神戸フロイデ合唱団」 ☎ 391-2613 まで



ある集い



木々の会

日常生活に生かされる
染織工芸を

山本和子

「木々の会」は、女子美術大学（東京都杉並区和田）の工芸専攻の関西に住む卒業生が集まって一九七七年に結成されました。

女子美術の工芸には他と異なる主張があります。それは、工芸本来の目的は、毎日の生活に生き、生かされて、使えるものを作ろうという考えです。

私達はけれんや、虚勢は戒め、用に忠実に生きようと考えています。その為に作品は一見平凡に見えるかもしれませんが、一度手にし、身近かにおき、身につけてみると、静かで、安らかで、気持よいものでありたいと希っています。材料を選び、色を吟味し、模様を練り、仕事の一から十まですべて自分の手で心をこめて作りあげて信条としています。

参加メンバーの各々は、国画会展、日本民芸館展、グループ展、個展などで作品の発表をしています。

今年はKOBÉ秋の芸術祭に参加し、テーマを「光と彩」、新人二人を加えて十四名で、ギャラリィさんちかに於て第九回展を迎えました。

参加の顔ぶれは、足立靖子、石井美江、大槻圭子、神原和子、木下恵美子、佐藤真理子、斎藤果理、関口千佳、中川伊津美、中根節子、中野扶美子、森雅子、山本和子、米村昭子の十四人です。



Beautiful
eye

わたしとメガネ



メガネ問題は見事に解決

武田 建

〈関西学院大学学長〉

昨年、関西学院大学の学長に就任され、執務に高等部アメリカンフットボール部の指導にと多忙ながらも充実した日々を送っていらっしゃる武田さん。

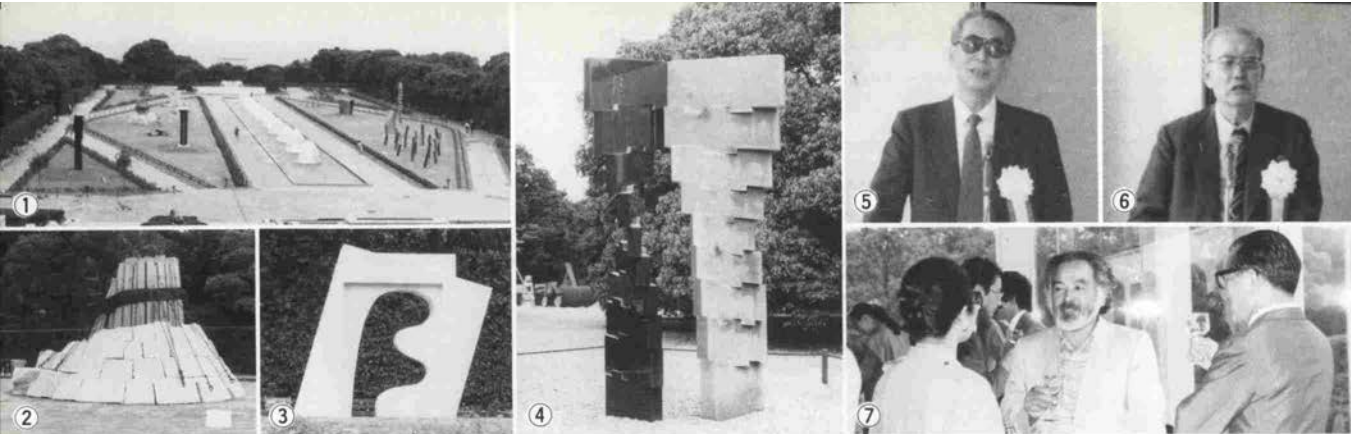
研究室で論文を書く時もグラウンドに立つ時もメガネを変えなければいけないので紛失されることもたびたびとか。

今日は、若々しいスポーティタイプのフレームと遠近両用のバリラックスレンズを選ばれ、メガネ紛失問題は見事に解決されたようです。

服部メガネ

神戸・大丸前

☎(078)331-1123



①会場風景②③展示作品④神戸市長賞(大賞)を受賞した空充秋さんの「ラブストリート」⑤運営委員長・河北倫明さん⑥宮崎神戸市長⑦大賞を受賞した空充秋さん(中央)

★現代彫刻で 住みよい都市空間を

●コウベスナップ

★セザンヌの孤独と 栄光の足跡を追って

“SUMA ビエンナーレ”の名で親しまれている『神戸須磨離宮公園現代彫刻展』が今年も10月1日から11月10日まで、神戸市、同展運営委員会、朝日新聞社の主催で開催されている。記念すべき第10回目を迎えた本展、今回は“街の彫刻を考える”のテーマのもとに311点の作品が応募。その中から20点の入選作(10点は招待作家)が展示され、さらに14点が各賞を受賞した。初日は宮崎市長ら関係者の挨拶、表彰式に続き盛大なオープニングパーティーが開かれた。

印象派から20世紀美術へと続く近代美術史上、巨大な分水嶺をなすポール・セザンヌ。世界各地の美術館から集められた油彩、水彩など80点からなる『セザンヌ展』が10月10日～11月9日まで兵庫県立近代美術館で開催されている。10月9日に開かれた記念レセプションには約100名の関係者が出席、人物、風景、静物などバラエティに富んだセザンヌの世界を堪能した。

①②会場風景③④出展作品⑤金井元彦・兵庫県立近代美術館館長の挨拶⑥三木良一・神戸新聞社社長の乾杯の音頭⑦高橋銀一・伊藤文化財団事務局長の挨拶⑧主催者によるテープカット

